

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の全体スケジュール (平成15年度まで)

平成16年6月12日

太郎右衛門自然再生地の社会的状況

- 旧流路は、横堤によって分けられた3つの池(上池、中池、下池)を中心とした豊かな湿地の自然が発達しており、住民からの自然保護に対する要望は強い。
- 旧流路周辺はそのほとんどが民地であり、耕作などによる改変が懸念される。

太郎右衛門自然再生地の自然環境の状況

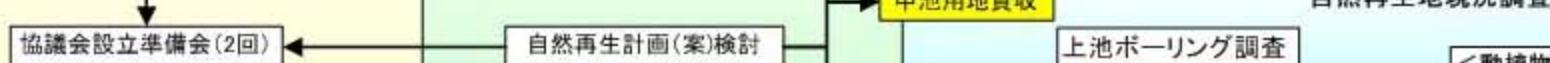
- 乾燥化によって湿地が減少し、湿地に形成している多様な生態系が衰退しつつある。
- 洪水による攪乱・更新の頻度の減少、強度の低下により、ハンノキ林を中心とした湿生林が安定・極相化し、高木・壯齢化が進んでいる。

協議会等

平成13年度



平成14年度



平成15年度

太郎右衛門自然再生
協議会

第1回(平成15年7月5日)
現状把握と自然再生への思い

- ①現状の把握
- ②当該地の自然再生のあり方(各自の想い)
- ③各自の役割分担

第2回(9月6日)
課題の共通認識と自然再生の
方向性についての合意

- ①課題の抽出と整理
(前回の意見についての紹介)
- ②課題の共通認識(治水上の制約条件等
に関する共有化)
- ③目標設定(自然再生の方針について)

検討内容

自然再生地現況調査

- <動植物の生育・生息状況(環境調査)>
- 植物
 - ・植生・希少植物の分布状況
 - ・ハンノキの生育状況: 杜鵑樹・若齢樹の分
布比率
 - ・乾燥地の実態(年間を通じての水位・水面
積・植生の変化)
- 魚類・底生動物
 - ・止水に生息する水生動物の生息状況
- 鳥類
 - ・鳥類(特に水鳥)の確認・利用(営巣、餌場)
状況
 - ・生態系上位種(オオタカ、サシバなど)
の生息状況
- 両生類・爬虫類・哺乳類
 - ・生態系上位種(タヌキなど)の生息状況
- 陸上昆虫類
 - ・ミドリシジミなどの希少昆虫類の生息状況

第3回(10月19日)
自然再生の目標設定

- ①水確保の事業メニュー設定
(整備案の検討)
- ②全体構想目次案の提示

制約条件
整合性

- 周辺の歴史的・社会的・自然
的位置付け
(資料収集・聞き取り)

- 周辺計画との整合
都市計画・下水道計画・農地、都
市公園特に埼玉県川島都市林計
画(資料の収集・協議)

- 調整池計画との整合
治水上の制約条件の抽出、調整
池計画が生態系に与える影響な
どの検討

- ビオトープネットワーク検討
・荒川全体におけるネットワーク
・旧流路におけるネットワーク

- 現状の自然環境(物理的、生物的)特徴

現地調査会
(11月11日、20日)

- ①自然再生の目標について
- ②水確保以外の事業メニューについて
- ③役割分担について

第4回(11月22日)
自然再生の目標
自然再生事業の概要

第5回(2月7日)
自然再生全体構想(案)の提示

(3月12日～3月22日)
自然再生全体構想の意見照会

(3月31日)
自然再生全体構想の公表

(平成16年度以降の予定)

